

## 令和6年度 保健体育科「体育」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1～8組 全員
教科書	なし	副教材等	アクティブスポーツ (大修館)

## 1 学習の到達目標

<p>1(知識・技能)</p> <p>運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、基本的な技能や動きを身に付け、記録や技に挑戦し、簡易化されたルールの制限を次第に正規に近づけるなどして試合ができるようにする。</p> <p>運動やスポーツの多様な関わり方を場面に応じて選択し、実践できるようにする。</p> <p>2(思考力・判断力・表現力)</p> <p>多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるようにするために、各領域で学習した内容を、他の運動にも適用することができるようにする。</p> <p>「する、みる、支える、知る」の視点から自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的に解決したり、新たな課題の発見につなげたりすることができるよう思考し判断したことを、言葉や動作などで即座に表したり、図や文章及び映像等を用いて筋道を立てて伝えたりできるようにする。</p> <p>3(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにすることといった運動を継続することの意義などを理解し、主体的に行う際の仲間との学習の進め方などを練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組むことができるようにする。</p>
--

## 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	A 体づくり運動	7.体ほぐしの運動	手軽な運動を行い、心と身体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合うことができる。	自己評価 記録計測 実技分析 行動観察 スキルテスト
5		イ.実生活に生かす運動	ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。	
	H 体育理論	2.運動やスポーツの効果的な学習の仕方	運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解できるようにする。	
6	G ダンス	7.創作ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、「それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をする」ことなどができるようにする。	
7		イ.フォークダンス ウ.現代的なリズムのダンス		
9	E 球技	7.ゴール型 サッカー	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。	
10		イ. ネット型 バレーボール	状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	
11	E 球技	イ. ネット型 卓球	状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	自己評価 記録計測 実技分析 行動観察 スキルテスト
12				
1	C 陸上競技	イ.長距離走	目標タイムを達成するペースを自己の技能・体力の程度に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走る。	自己評価 記録計測 実技分析 行動観察
2				
3				

### 3 評価の観点

知識・技能	運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けている。選択した領域の基本的な技能や動きを身に付け、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルールの制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。運動やスポーツの多様な関わり方を場面に応じて選択し、実践できる。
思考力・判断力・表現力	自らに適した領域を選択し、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わることができるようにするため、各領域で学習した内容を、他の運動にも適用することが求められることから、「する、みる、支える、知る」の視点から自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的に解決したり、新たな課題の発見につなげたりすることができるよう知識を活用したり、応用したりして、思考し判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりしながら、言葉や動作などで即座に表したり、図や文章及び映像等を用いて筋道を立てて伝えたりできる。
主体的に学習に取り組む態度	運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにすることといった運動を継続することの意義などを理解し、練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組むことができる。

### 4 評価の方法

<p>(知識・技能)</p> <p>学習カードやワークシート等の記載内容から見取る。学習状況を観察し、評価規準の対してどの程度身につけているか見取る。記録計測やスキルテスト・実技分析を行ない、技能の修得ができていないかを観察し、評価をする。</p> <p>(思考力・判断力・表現力)</p> <p>学習カードや自己評価カードの他に、話し合い活動や教え合い活動等の場面を観察評価する。</p> <p>(学びに向かう力、人間性)</p> <p>学習カード等の記載内容や授業中における発言、行動観察から見取る。</p>
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定のトレーニングウェアを着用して下さい。</li> <li>・時間を守り、体調管理がしっかりとできるように汗をかいたあとの着替えなどの管理や、運動後の給水、手洗いやうがいなどの習慣を身に付けましょう。</li> </ul>
--